

発行

(公財) 秋田県暴力追放運動推進センター (旧 暴力団壊滅秋田県民会議)

〒 010-0951 秋田市山王四丁目1-5

☎ 018-824-8989 FAX 018-824-8990

警察官をかたる詐欺、SNS型投資詐欺が増加しています。匿名流動型犯罪グループは、暴力団の資金源となっている事案が検挙されています。警察官とかたる者が「あなたは捜査対象になっている」などと言ってSNSなどで「警察の偽ホームページに誘導」して逮捕状の画像を検索させ、現金を振り込ませる事案が発生しています。警察が電話などで「捜査対象になっている」と伝えたり、ホームページやSNSなどで逮捕状の画像を見せ現金の振込みを要求することはありません。※落ち着いて考えましょう。警察が脅迫、恐喝まがいのことをしますか？

公益財団法人 秋田県暴力追放運動推進センター

◎特殊詐欺の概要について(警察庁発表・令和7年5月末時点暫定値)

- 1 令和7年5月末の認知件数・被害額は**前年同期比で大幅増加**
認知件数10,905件(+3,501件)、被害額492.4億円(+307.6億円)で過去最悪であった前年を同期比で大幅に上回る。
- 2 **主な要因**
 - (1)警察官等をかたる詐欺
 - ・警察官等をかたり捜査(優先調査)名目で現金等を騙し取る手の認知件数は3,816件と特殊詐欺全

体の認知件数10,905件の約35%

- ・被害は幅広い年代にわたるが、令和7年5月末時点の認知件数は30歳代が768件と最多、次いで20歳代が703件で、ほぼ全て携帯電話への架電
- ・通信会社などをかたる自動音声ガイダンスを利用した被害も発生しており、犯人側が自動発信機能等を使い大量に架電している実態もうかがわれる
- ・被害額は特殊詐欺全体の約64%で被害額は316.1億円
- ・40歳代以上の既遂被害1件当たりの被害額が1,000万円を超えており高額化
- ・交付形態別被害額は、インターネット・バンキングが139.1億円と警察官等をかたる捜査(優先調査)名目全体の約44%を占める

(2) SNS型投資詐欺

- ・認知件数2,260件、被害額271.9億円であるが、認知件数・被害額ともに3か月連続で増加
- ・当初の接触ツールはInstagramが最多で、次いでラインで、それぞれ増加傾向
- ・当初の接触手段は、ダイレクトメッセージが最多で発生の約5割弱、次いでバナー等広告が約3割弱

(3) SNS型ロマンス詐欺

- ・認知件数2,010件、被害額193.9億円、本年2月以降減少していたが5月中の被害額は40.6億円と増加に転じ2月に次いで多額被害
- ・当初の接触ツールは、マッチングアプリが最多で、次いでInstagramが増加傾向
- ・当初の接触手段は、ダイレクトメッセージが最多で約9割強

※注意すべき点として○警察かたりを含めて、URLのアドレスを確認する○誘導された警察のホームページのアドレスが正しいか別ルートで確認する○これまで接触のなかった相手方を純粋に信用しないでください。時間をかけて現金を騙し取る例も数多くあります。接触前には確認作業が重要です。